

図書館ニュース

【開催レポート】早川町在住 絵師・映水先生による「やさしい写仏体験」 身延山大学にて心静かなひととき



筆を通して感じる「描く楽しさ」と「仏の喜び」

早川町在住の絵師、映水（えいすい）先生を講師にお迎えした「やさしい写仏体験」が、10月4日（土）13時より身延山大学附属図書館5階会議室にて開催されました。地域連携講座の特別講演会として行われた本講座には、定員いっぱいの参加者が集まり、写仏を通して自分自身と向き合う貴重な時間を過ごしました。

「写仏」とは、仏様の姿を書き写すことを通して精神を修養する伝統的な修行の一つです。映水先生は、その写仏を「やさしく」「楽しく」体験できるよう、丁寧に指導されました。

参加者は、静寂な図書館の会議室という環境の中、一筆一筆に集中。仏様が紙の上に次第に浮かび上がっていくプロセスを体験しました。写仏はただ絵を真似て描くことにとどまらず、筆の運びを通して自分自身と向き合う瞑想的な時間となります。

早川町を拠点に活動する映水先生のやさしい指導

講師を務めた映水先生は、山梨県早川町を拠点に活動されている注目の絵師です。仏画や風景画などを手掛け、その作品は多くの人に安らぎを与えています。先生の参加者一人ひとりに寄り添った親切な指導のおかげで、写仏が初めてという方でも安心して筆を進めることができました。写仏の技術だけでなく、その背景にある精神性や心の整え方についても触れられ、参加者にとって実りある時間となりました。



身延山大学図書館 地域連携講座 特別講演会